

主にあって愛する皆様へ

栄聖書教会 派遣宣教師 清水勝俊・由紀子



主が私たちにこう命じておられるからです。

『わたしはあなたを異邦人の光とし、地の果てにまで救いをもたらす者とする。』（使徒13:47）

まどろむことも、眠ることもなく、すべてのわざわいから私たちが今よりとこしえまでも守られる主の御名を褒め称えます。

いつも私どもの働きのために、お祈りとご支援を賜り、誠にありがとうございます。世界中が新型コロナウイルスの脅威にさらされる中であっても、力強くご自身のみわざを行っておられる主の御名をほめたたえます。このような中であっても、私たちの働きも守られ、引き続き、当地において主の働きが着実に進められています。ロックダウン規制緩和もあり、8月には5ヶ月ぶりにみなで集まって野外礼拝も行うことができました。先回のご報告後を振り返って見たいと思います。

コロナ禍の中でも着実に進む主のお働き

本来であれば、夏は最も活発に宣教の働きがなされていく時ですが、今年は、政府によるロックダウン規制が続く中、私たちの働きも制限されています。引き続き、礼拝や祈祷会、聖書の学びなどの集会は、Zoomなどによるオンラインで行



野外礼拝

っていますが、感謝なことに、毎回、祝福されています。ロックダウンでみな家にこもりがちで、特に英国では4月以降、学校が閉鎖されていたため、四六時中、子育てに追われるご家族や、病気をしても病院がコロナ対応優先で通常の治療が受けられない方、仕事が在宅勤務となり、ほとんど人と接触しなくなった方など、多くの方々が、霊的にも肉体的に疲弊しておられ、様々な影響が出ています。特にことばと文化の異なる環境で日本人として生きる中において、それがさらに孤独感を強めるため、この時こそ、みことばの養いが必要とされています。オンラインではあっても、毎週、みなで御前に集い、礼拝をおささげし、主との豊かな交わりを持ち、みことばに養われ、また教会員同士も少しでもお互い元気な顔を見ることで、大きな励ましとなり、生きる力が与えられています。このような事態ではありますが、神の民として生きる幸いを実感しています。

このような中であっても、引き続き、主の働きは進められ、個別の聖書の学びや交わりの時が様々な機会を通じて与えられています。南と北の教会で行っている聖書の学びには、新しい方々も加わっています。お子さんが英国現地の教会で洗礼を受けることを切掛に、聖書の学びを始めた方、しばらく教会を離れていて、このロックダウンを機に信仰の回復を求めて、ご友人も誘って来られた方、また仕事在宅勤務になって、人との接触がなくなり、それが霊的な飢え乾きとなって祈祷会に参加されるようになった方もおられます。また、クリスチャンではありませんが、



外国から引っ越して来られ、日本人コミュニティーを求めて教会に連絡くださり、教会の方と良い交流を持っている方もいます。教会がそのような誰にも開かれたところとなっていることを感謝します。いずれも、良き伝道、豊かな主にある養いの時となっています。霊の目を開いて見れば、このような時にも主ご自身が私たちを通してお働きになられていることを覚えます。どうかこの中からも、さらに豊かな実を結ぶ者が起こされていくよう、お祈りください。

なお、毎年夏に行われるヨーロッパキリスト者の集い（「集い」）は、コロナの影響で今年中止となりました。来年2021年の「集い」開催に向けては、すでに準備が進んでいますが、南ロンドン日本語キリスト教会からも実行委員を送り、他の日本人教会（パリ、スイス、ミュンヘン）と共同で主催します。また、主催教会の負担が大きいことなどから、2022年以降については存続が危ぶまれていましたが、8月1日、参加教会からの代表者会議によって、継続開催の是非が検討されました。南ロンドン日本語キリスト教会からは、これまでの1つの教会が単独で主催するやり方ではなく、複数の教会から有志を送り、共同で設置する実行委員会を持って開催していくことを提案し、また、この範囲であれば、私たち南ロンドンの教会も参画することを伝えました。この提案が18教会全会一致で賛同・承認され、また、フランクフルトの教会とスイスの教会から委員を選出してくことが検討されることになりました。南ロンドンの教会も現在の2021年実行委員の働きを2022年度も継続していくこととなります。「集い」は、これまで40年近くヨーロッパの日本人宣教のために大きく用いられてきました。多くの方がこれからも継続していくことを願っています。どうぞ今後の「集い」のためにもお祈りください。



ヨーロッパキリスト者の集い代表者会議

また、一部ロックダウンの規制が緩和されたことに伴い、8月16日、南ロンドン日本語キリスト教会で野外礼拝を行いました。リスクアセスメントと地元カウンスル(地方議会)の許可を得るなどの手続きも必要でしたが、野原の真ん中でポータブルWifiを使ってZoomやFacebookのライブ配信を行いつつ実施することなど、私たちにとってロケット打ち上げのような大プロジェクトでした。リハーサルも行って入念な準備をしましたが、最大の懸念はお天気でした。朝の時点では予報は雨マークでしたが、サットン地区だけは何とか午前中はもちそうな予報でしたので、祈って準備してきたことであり、決行することにしました。準備中も今にも



泣き出しそうな雲行きでしたが、礼拝開始の頃から、陽が差し出し始め、みごとに晴れました。とても祝福された礼拝となり、一同再会に感動し、やはり、集まって主に礼拝をささげさせていただけるすばらしさと恵みを実感し、主の御名をほめたたえました。

会堂での礼拝再開に向けて

北ロンドンのセント・ジョンズ教会での日本語礼拝も、9月27日、会堂での礼拝を再開しました。ごく小規模で、子どもも合わせて11名でしたが、みな再開に喜び、ここでも主に感謝し、御名をほめたたえました。今後も月に一度ですが、会堂で集まって礼拝をして行く予定です。

南ロンドンの教会でも会堂をお借りしている教会から、10月から一部使用できるとの連絡があり、現在、会堂での礼拝を検討中です。森川達矢兄のバプテスマも、是非、行いたいと願っています。しかしながら、9月より学校や職場での仕事も再開され、ようやく少し社会に回復の兆しが出てきた矢先、コロナの感染者も急増するようになりました。政府も再度、規制を強化しています。教会内には依然として感染リスクへの懸念の高い方々がおられ、慎重に進めなくてはなりません。どうか、ここにも主にある愛と知恵をもって、最善を図っていけるよう、お祈りください。

主にあつて、

清水勝俊、由紀子

小さなたね

シクラメンの鉢植えが、また見事な白い花を咲かせました。水をあげて、日当たりの良い窓辺に置いていただけなのに不思議です。

先日、教会のプレイグループに通っていた方が、そこで一緒に歌っていた賛美を、お宅でお子さんたちがふり付きで歌っている様子を動画にして送っていただきました。しばらくオンラインでも続けていた「たんぼぼ」ですが、幼稚園に通い始めるお子さんや、お母さんがお仕事に行く方も増え、お休みとなっていたので、みんなどうしているかな?と思っていたところ、そのような様子をうかがって、本当に励まされています。

「私が植えて、アポロが水を注ぎました。しかし、成長させたのは神です。ですから、大切なのは、植える者でも水を注ぐ者でもなく、成長させてくださるのは神です。」

1コリント3:6,7

どのような時でも、主の御業に期待し、なせと言われることを喜んでさせていただくことが出来ますように。皆さんのお祈りに心から感謝しています。

由紀子



2020年7月1日から2020年9月30日までの間に支援会に寄せられた支援金の総額は、1,272,900円となっております。このコロナ災禍の中にあつて、皆さまが主に尊くささげられた献金の重さを覚え、一層の畏れと感謝をもって受け取り、主のために、ひたすらに労していきたいと改めて思われています。心より感謝申し上げます。引き続き、何卒、よろしくお願いいたします。

清水勝俊宣教師を支える会 会計報告 2020年7月1日～2020年9月30日

収入			支出		
科目	金額	備考	科目	金額	備考
教会献金	879,900	10教会 15件	支援金	1,192,299	
個人献金	393,000	21名 45件	手数料	9,021	海外送金手数料、振込手数料
献金合計	1,272,900		事務費	13,578	印刷費、郵送費、消耗品
受取利息	0		支出合計	1,214,898	
前期繰越	201,876	ゆうちょ銀行	次期繰越	259,878	ゆうちょ銀行
合計	1,474,776		合計	1,474,776	

2020年7月1日～2020年9月30日に献金して下さった教会・個人(順不同・敬称略)

教会献金

キリスト教朝顔教会 永福南キリスト教会 栄聖書教会 キリスト教たんぽぽ教会 久居聖書教会
春日井聖書教会 浜田山キリスト教会 西荻南イエス・キリストの教会 湘南ライフタウンキリスト教会
ぶどうの樹キリスト教会

個人献金

安達良治 西田淳志 田中真理 藤川暁子 作田銀也 小田直恵 佐野彩子 小山享子 矢野暁子
中西健彦・桜 渡辺真知子 鞭木幸子 田中康一 川崎紀巳子 河西範昌 蜷川いづみ 森本純平
飯高満智子 加賀都喜乃 嶋本洋子 水谷信子

(なお、教会の指定献金を通して、お献げくださった方々は個人名を記載していません。)

清水勝俊宣教師を支える会

◇◆開拓伝道献金◆◇

- ①都市銀行からの振り込み
ゆうちょ銀行 普通口座
店名二〇八 店番208
口座番号1543012
- ②ゆうちょ銀行からの振り込み
記号12000
番号15430121
(定期献金:毎月5日)

派遣教会: 栄聖書教会(日本福音キリスト教会連合)
宣教団体: ジャパン・クリスチャン・リンク(JCL)
支援会会長: 末松隆太郎(栄聖書教会牧師)
副会長: 竹内豪(つつじヶ丘キリスト教会牧師)

お祈りください

一人でも多くのロンドン、英国、欧州の日本人が福音を知り、イエス様の救いに与ることが出来るように。

救われた方々がみことばによって養われ成長し、キリストのみからだである教会を、共に建て上げてゆくことが出来るように。

海外で救われた方々が帰国して日本の教会につながり、祝福された信仰生活を送ることが出来るように。

<連絡先>

清水勝俊宣教師を支える会 代表 末松隆太郎 栄聖書教会 〒470-0115 愛知県日進市折戸町孫三ヶ入86
栄聖書教会派遣宣教師 清水勝俊 amazinggrace721@gmail.com 事務局 西田淳志 shienkai.shimizu@gmail.com